

# 平成 29 年度 社会福祉法人三恵会事業報告書

## 1. 事業概要

特別養護老人ホームを中核とし、ショートステイ、デイサービス、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等の社会福祉事業を行い、お年寄りの介護を通して、地域の方々の生活を支援しています。

## 2. 理事会及び評議員会

第 1 回理事会 平成 29 年 6 月 13 日(火) ひかわ会議室

1. 平成 28 年度事業報告
2. 平成 28 年度決算報告
3. 監事監査報告
4. 新理事・監事候補者の選出
5. 訪問介護事業の休止について
6. その他 (参加者 理事 4 名、監事 2 名、事務局 1 名)

第 2 回理事会及び評議員会 平成 29 年 6 月 18 日(日) ひかわ会議室

1. 平成 28 年度事業報告
2. 平成 28 年度決算報告
3. 監事監査報告
4. 新理事・監事候補者の選出
5. 訪問介護事業の休止について
6. その他 (参加者 評議員 5 名、理事 6 名、監事 2 名、事務局 1 名)

第 3 回理事会 平成 29 年 6 月 18 日(日) ひかわ会議室

1. 理事長の選出及び理事長の職務代理者の選任について  
(参加者 理事 6 名、監事 2 名、事務局 1 名)

第 4 回理事会 平成 29 年 10 月 17 日(日) ひかわ会議室

1. 業務執行状況の報告について
2. 業務執行理事の選出
3. その他 (参加者 理事 6 名、監事 2 名、事務局 1 名)

第 5 回理事会 平成 30 年 3 月 16 日(金) ひかわ会議室

1. 平成 29 年度後期事業報告
2. 平成 29 年度補正予算案
3. 平成 30 年度事業計画と当初予算案
4. 就業規則の変更
5. その他 (参加者 理事 6 名、監事 1 名、事務局 1 名)

## 3. 監査会

平成 29 年 6 月 6 日(火) ひかわ会議室に於いて

1. 平成 28 年度収支決算の監査 (参加者 監事 2 名、理事 2 名、事務局 1 名)

#### 4. 目標に対する自己評価

基本目標 1	高齢で普通の生活が出来なくなった人達に対して「あたりまえの生活が出来るように支援していく」と云う法人理念に則り、お年寄りとそのご家族を支援していく。
重点課題	関係者とのコミュニケーションを深め、相互理解と共通目標の確認をする。
評価	一部の処でコミュニケーション不足は有りましたが、それ以外の処は満足して頂けたと思う。

基本目標	前年目標の継続。富士見園の建てかえプランの見直しをする。
重点課題	開発申請の確認。特養併設と建設費の研究。
評価	養護老人ホームに対する、さいたま市の考えが見えていないので、様子見となっています。

## 特別養護老人ホーム三恵苑事業報告

### 1. 事業概要

人生の最後を悔いなく、楽しく送って頂けるように。

そして『あたり前な生活が出来るように』特養入居者 60 名と短期利用者 20 名のお年寄りの生活を支援しています。

### 2. 月間利用者延人数

(特養・短期合計)

28 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	2,304	2,430	2,333	2,357	2,399	2,286	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	2,410	2,239	2,295	2,352	2,139	2,416	27,960
29 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	2,365	2,384	2,257	2,327	2,369	2,214	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
	2,276	2,309	2,461	2,384	2,060	2,335	27,741

### 3. 退所の状況

性別	年齢	介護度		性別	年齢	介護度	
女	97	5	苑にて看取り	女	83	4	療養病院入院
女	85	5	苑にて看取り	女	85	4	病院にて逝去
女	89	4	苑にて看取り	女	98	5	苑にて看取り
女	79	5	苑にて看取り	男	91	4	病院にて逝去
男	76	3	苑にて逝去	女	74	3	利用終了
女	93	3	療養病院入院	女	99	3	病院にて逝去
男	79	5	苑にて看取り	女	95	5	苑にて看取り
男	83	4	病院にて逝去	退所者平均年齢 87.3 歳			
男	91	5	療養病院入院	看取り 昨年度 8 名 今年度 6 名			

### 4. 入居者の年齢構成

(3 月末日現在)

	～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	平均	最高齢
男	1	4	5	1	3	2	1	0	80.4	95
女	0	5	4	2	15	11	3	2	86.8	101
計	1	9	9	3	18	13	4	2	84.9	101

### 5. 入居者の介護度別人数

(3 月末日現在)

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	平均介護度
28 年	2	4	14	21	19	3.85
29 年	1	3	17	24	14	3.80

## 6. 事業所で行ったこと

4月	お花見の会	10月	バスハイク
5月	端午の節句	11月	焼き芋会、外注食会
6月	運動会、外注食会	12月	クリスマス会、餅つき
7月	納涼祭	1月	新年の集い
8月	七夕の会、入居者健康診断	2月	節分の会
9月	敬老会	3月	ひな祭りの会

- その他毎月、ホーム喫茶、手作りおやつ、クラブ活動(書道クラブ、民謡クラブ、クレヨンクラブ、お花クラブ、ハンドベルクラブ)お誕生日企画を行いました。

## 7. 職員の状況 (特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
施設長	1			男	社会福祉主事
事務員	1			女	衛生管理者、ヘルパー2
事務員		1		女	社会福祉主事
相談員	1		○	男	介護支援専門員、介護福祉士
ケアマネ	1		○	男	介護支援専門員、社会福祉士
主任	1			男	介護福祉士
主任	1			女	介護福祉士
リーダー	1			女	介護福祉士
リーダー	1			男	介護福祉士
介護職	5	2		女	介護福祉士
介護職	7			男	介護福祉士
介護職	1			男	介護職員初任者研修
介護職		5		女	介護職員初任者研修
介護職	1			男	
介護職		2		女	
看護師		2		女	正看護師
看護師	2			女	准看護師
看護師		1		女	派遣職員(准看護師)
栄養士	1			女	管理栄養士
介助員		2		男	
介助員		1		女	
洗濯		3		女	
宿直員		3		男	
合計	25	22	介護職員:入居者数 = 1 : 2.58		

## 8. 各委員会

職員による各種委員会活動があります

- ・安全対策委員会
- ・ケア向上委員会
- ・身体拘束委員会
- ・褥瘡対策委員会
- ・マニアル委員会
- ・衛生管理委員会
- ・感染症対策委員会

## 9. 目標に対する自己評価

特養 基本目標 1	お年寄りが三恵苑での生活を心から楽しんで頂けるよう、 職員全員で協力しながら“三恵苑”という生活の場を作っていく。
重点課題	お年寄りに対する思いやり、職員同士での思いやりの心を忘れずに業務を行うこと。常に相手の気持ちに立って考えること。
評価	一方方向の思いやりとなる事もあったが、相手の立場を考えての言動が多くあった。しかし、業務の追われると疎かになる職員もあり、今後も接遇に注意が必要である。
特養 基本目標 2	安全な環境づくり。
重点課題	利用者が安心して過ごせるように、また職員も安心して仕事ができるよう環境を整えていく。 介護に関して、職員それぞれが利用者の状況をしっかりと把握し、事故が起きないように心掛ける。
評価	ADL 表を各階3か月毎に更新するなど把握に努めました。環境的には職員が腰痛となり退職者が出てしまい、腰痛予防や抱えない介護など対策が必要である。
介護【1階】 目標	利用者、職員同士の思いやり
重点課題	言葉使いに注意する (対人援助のプロとして利用者を傷つける言葉、不快感を与える言葉を使わないよう心がけ、職員同士注意しあえる環境を作る。)
評価	利用者、職員同士の言葉使いは以前より浸透しているが、心無い(冷たい)対応がある。今後も接遇に注意が必要である。
介護【2階】 目標	利用者、職員同士の思いやり
重点課題	互いの気持ちを知る ・自分がされて嫌な事(言動)はしない ・相手が何を求めているのかを考え行動する
評価	利用者、職員同士の言葉使いは以前より浸透しているが、心無い(冷たい)対応がある。今後も接遇に注意が必要である。
医務室 目標	1. 感染症対策 2. 看取り対応についての再確認 3. 利用者、職員の健康管理
重点課題	①感染マニュアルの再度確認と情報収集後、職員への伝達と指導行う ②本人と家族の希望を一つでも叶えて職員と共に寄り添える看取りを行う ③利用者の状態変化に早期発見と対応を行う。職員一人一人に声かけ、身体的・精神的変化の把握と指導を行う
評価	①マニュアルの再確認は出来なかったが、研修発表等で職員への伝達、指導は出来たと思われる。

	<p>②看取りについては、対応の説明から状態の報告・確認をしながら職員一同で看取れました。本人の希望は聞けませんが、最後の表情が穏やかであることが評価と思います。</p> <p>③状態の変化・早期の対応は出来ているが、介護職への伝達が十分で無い時がある。</p>
<p>厨房 基本目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ご利用者様に合わせた食事形態の見直し</li> <li>2. 食事を楽しんでもらえるような取り組みの充実 (行事食やバイキングなど)</li> <li>3. 衛生管理の徹底</li> </ol>
<p>重点課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ご利用者様の状態に合わせてお食事を提供するために、ソフト食の導入を検討します。</li> <li>2. 全利用者様が公平に楽しめるデザートバイキングの回数を増やします。また、ご利用者様に人気のあるおにぎりやいなり寿司等は、普段のお食事に多く取り入れていきます。</li> <li>3. 感染症の食事故を防ぐために、予防、対策を徹底していきます。</li> </ol>
<p>評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ソフト食の導入に関しては、作業上や衛生面を考慮し、行事食のみ提供しました。</li> <li>2. デザートバイキングは年4回行いました。次年度は6回に増やします。おにぎりやいなり寿司等、利用者様に人気のメニューを月1回程度取り入れ、ご好評頂きました。</li> <li>3. チーフを中心に衛生に関する知識や情報の共有ができ、予防及び対策ができました。</li> </ol>

## 養護老人ホーム富士見園事業報告

### 1. 富士見園基本方針

- 1 利用者の皆さんの自立と個人の尊重を重んじ、生きがいを持ち、安心して楽しい生活が出来るように支援します。
- 2 職場の将来展望において、職員全員が共通意識のもと、意識改革と自己研鑽を積み、働く喜びを共に感じられる職場にします。
- 3 一施設としての事業展開にととまらず、広く地域の福祉推進者としての視点を常に持ち行動します。

### 2. 入居者の状況

#### 1) 実施機関別在園者数

H30.4.1 現在

機関 性別	大宮区	西区	北区	見沼区	中央区	桜区	浦和区	南区	緑区	岩槻区	熊谷市	蓮田市	富士見市	志木市	合計
男	9	9	8	6	1	0	1	0	0	4	0	0	1	0	39
女	6	11	11	13	1	2	2	0	0	1	1	0	1	0	49
計	15	20	19	19	2	2	3	0	0	5	1	0	2	0	88

#### 2) 年齢別在園者数 各年度末調べ

年度 年齢	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女
65 歳以下	0	0	1	0	1	0	2	1
65～70	2	4	2	2	2	3	4	2
71～75	7	6	8	5	9	4	7	6
76～80	11	9	11	9	9	11	11	12
81～85	14	9	5	13	12	8	8	7
86～90	3	10	15	10	6	13	7	11
91～99	1	10	1	6	1	6	2	6
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0
計	38	48	43	45	40	45	41	45
総計	86名		88名		85名		86名	

※平均年齢 男 78.8 歳 女 82.0 歳 平均 80.4 歳 最高年齢 男 94 歳 女 96 歳

## 3) 月別入・退所者状況

H29 年度分

月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍		85	83	86	89	86	85	86	86	84	88	87	86	
入園	男	0	0	3	1	0	0	1	0	0	4	0	0	9
	女	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	5
退所	男	0	1	1	0	2	0	0	0	2	1	1	0	8
	女	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	5

## 4) 退所事由別

H29 年度分

性別	年齢	死亡	施設替え (特定施設等)	入院 (措置切れ)	家庭復帰	計
	男		3	2	2	1
女		3	1	1	0	5
計		6	3	3	1	13

## 5) 入園前の居所別 H30.3 末現在

性別	居所	家庭					小計	病院 老健	施設 (救護) (厚生) (身障)	その他	計	
		配偶者	子供	兄弟 姉妹	その他 の親族	ひとり 暮らし						その他 雇主等
男		1	4	1	1	24	1	32	2	1	6	41
女		0	8	3	3	29	0	43	2	0	0	45
計		1	12	4	4	52	1	74	4	1	6	85

## 6) 在園期間別 H30.3 末現在

性別	居所	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6~9	10~ 14	15~ 19	20年 以上	計
	男		8	3	6	4	2	4	9	4	1	0
女		5	6	4	3	3	0	8	11	4	1	45
計		13	9	10	7	5	4	17	15	5	1	86

平均在籍年数 6.2 年

## 7) 介護保険認定状況

H30.4.1 現在

区分	要支援 I	要支援 II	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	合計
男	2	2	4	6	3	0	0	17
女	2	3	7	12	2	1	0	27
計	4	5	11	18	5	1	0	44



### 3. 目標に対する自己評価

基本目標 1	施設整備計画を具体的に実行していきます。
重点課題	①施設整備計画を具体的に立案・実行していきます。 ②施設の維持管理を計画的に実施していきます。
評価	本年度も本庁に出向き施設修繕への要望を伝えた。施設全体に老朽化が進み様々な不具合が生じている。対応できない修理や高額な修繕も発生している。次年度に向け具体的な対応を検討する。
基本目標 2	自立した生活が継続できるようよりの確な利用者支援を実施していきます。
重点課題	①個別支援計画に基づいた生活・介護支援を的確に実施します。 ②利用者が安全で快適に生活できるように支援していきます
評価	特定利用者への支援が年々増加し多様化している。日々利用者の状態に合わせて支援内容や提供時間等の調整を行いたく確なサービス提供実施出来た。
基本目標 3	職種に応じた研修会参加を計画し、全職員のスキルアップを図ります。
重点課題	① 年間研修計画に基づき全職員の研修会等への参加を実施し職員の専門的知識・技術の習得、資質の向上に努めます。 ② 各職員の「チャレンジプラン」での能力開発目標に基づき、職員の資格取得やスキルアップのための研修会・講習会への参加を推進します。
評価	年間研修計画に基づき全職員の研修会等への参加を実施した。又、養護分科会研修会には、支援員、相談に加え専門職(看護師・栄養士等)にも参加してもらい貴重な研修となった。
基本目標 4	防災体制・感染予防対策の整備強化を実施します。
重点課題	①あらゆる災害に対応できるよう防災対策の整備と強化を図ります ②災害時に必要な給食給水及び資機材配備の整備を行います ③緊急時の対応が迅速且つ的確に実施出来るための訓練・講習会を実施します。 ④感染予防対策の強化と見直しを行います。
評価	昨年3月に発生したインフルエンザB型の集団感染(利用者・職員計 36 名)について改めて検証を行い問題点の洗い出しと対策を検討した。感染予防委員会の他に同じテーマの研修会を実施し予防対策の知識を高めた。
基本目標 5	地域に密着した福祉拠点を目指していきます。
重点課題	① 地域福祉の拠点として施設の役割・機能を最大限発揮していきます。 ② 地域との交流を積極的図り、地域との連携と協力体制をより深めていきます。 ③ 介護体験や社会化体験などを目的とした研修生、実習生を積極的に受け入れていきます。又、ボランティア等の活動についても内容・目的など調整し受け入れしていきます。
評価	行事等で地域の方を招き多くの方と交流が出来た。 市主催の「ますます元気教室」や西区健幸フェスタにて運動教室を実施した。

## 2)セクション別 目標に対する自己評価

養護 基本目標	ADL・IADL の低下を防ぎ、一日でも長く安心して生活出来る様自立に向けて支援していく。
重点課題	・利用者の状態を把握し、各セクションと連携を取り個々にあった対応をしていく。 ・本人が自分で出来る些細な事でも、長く継続できるよう支援していく。
評価	・H29 年度は 9 名の方が入所され、ショートステイのみ利用の方は 8 名の方がいた。新しく入所・ショートステイされた方は ADL 的には問題ないが、IADL ができてなく行おうとする気力がみられない方が多かった。根気よく声掛けを行い現時点では改善されてきたと思われる。 ・何かあった時は、報連相がよくできていたと思う。また養護→特定に変更になる利用者がいた時も連携を取りスムーズに移行できたと思う。
特定 基本目標	出来ている事が継続でき、出来る事が増えているサービスの提供
重点課題	・ニーズの把握と信頼関係の構築
評価	これまで出来た事が継続し出来ている方も居られるが、認知力等の低下により出来なくなった事が、一緒に行ない関わる事で少しずつ出来るようになっていく方も居られる。瀬上さんは使い捨てスプーンから箸、渡邊さんは転倒リスクあるもののシルバーカー歩行など、退院時の課題だったことが出来る様になった。
訪問 基本目標	日々の生活の中で現状維持と健やかな暮らしが出来るようお手伝いします。
重点課題	野草茶屋にビデオデッキを設置し皆さんで楽しめる場にする。 健康管理に気を付ける。
評価	日々の生活も職員の声かけで活気を帯び微力ながらも潤いが保てたように思う。在園者から歌のリクエストなどもあり楽しんでいただけた。転倒・体調不良者も前年度より少数に防げた。
医務室 基本目標	体力と残存機能の維持
重点課題	個々にあった体力作りとして、ラジオ体操、散歩、ゲーム等の積極的参加 日常生活基本動作を増進するための働きかけ→入浴日には入浴をする、食事時の動作など、小さなことでも出来ることはして頂く
評価	ラジオ体操等の参加は、拒否的な在園者はほぼ決まっており、再三の声掛けが必要であった。日頃の小さな運動、行動が健康寿命を延ばすということに結びついていない感じであった。 感染症罹患者は最小限に抑えられた。
厨房 基本目標	衛生に十分考慮し、在園者の皆様に喜んで頂ける食事作り
重点課題	食品衛生知識の構築 薄味の食事作り
評価	衛生面については、大量調理マニュアルの改訂に基づき中心温度の測定回数

又箇所について、変更し作業記録にも反映出来つつあるように思う。作業工程又時間について、見直す事もまだあるので引き続き衛生管理の徹底に努める。

嗜好調査と検食簿での意見。給食会議での意見については厨房内で話し合い検討出来たと思う。今後も継続しく。



### 5. 入居者の介護度別人数

(3月末日現在)

介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	人数計	平均介護度
28年	8	10	27	36	20	101	3.49
29年	8	8	26	36	29	107	3.65

### 6. 月別入・退所者状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
在籍	103	105	106	106	104	102	103	104	102	103	102	102			
入院者	3	4	3	4	5	6	4	3	5	4	6	5			
入所	男	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	6	20
	女	3	2	1	1	0	0	1	1	1	1	2	1	14	
退所	男	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	5	16
	女	1	0	2	0	1	1	1	0	2	1	1	1	11	

### 7. 職員の状況 (特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
施設長	1		○	男	介護福祉士、社会福祉主事
事務長	1			女	社会福祉士、衛生管理者
事務員	1			女	簿記検定1級
相談員・ケアマネ	3		○	男	介護支援専門員、介護福祉士
相談員・ケアマネ	1		○	女	介護支援専門員、社会福祉士
ユニットリーダー	1			女	介護福祉士、ユニットリーダー研修
ユニットリーダー	2			男	介護福祉士、介護支援専門員
ユニットリーダー	4			男	介護福祉士、ユニットリーダー研修
ユニットリーダー	5			男	介護福祉士
介護職	15	7		女	介護福祉士、介護支援専門員(1名)
介護職	10	0		男	介護福祉士
介護職	2	0		女	介護職員実務者研修
介護職	1	1		男	介護職員実務者研修
介護職	5	20		女	介護職員初任者研修
介護職	1	0		男	介護職員初任者研修
介護職	2	5		女	資格なし
看護師	3	1		女	看護師
看護師	2	1		女	准看護師
栄養士	1	0		女	管理栄養士
介助員	0	2	○	男	宿直兼務(1名)
宿直員	0	2		男	
合計	61	39	介護職員 : 入居者数 1 : 1.68		

## 8. 目標に対する自己評価

<p>特養 基本方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 当たり前の生活のために、入居者一人ひとりの生活情報をユニットケアの実践に活用する。</li> <li>2. 質の向上を図るための研修への参加を促し、参加できない職員にも研修内容を浸透させる。</li> <li>3. 福祉施設として地域に根ざす。(前年度より継続)             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 福祉施設の一部を開放し、地域活動に活用していただく。</li> <li>② 地域の方々も参加できるような行事を取り入れる。</li> <li>③ ボランティアの受け入れの整備。</li> </ol> </li> </ol>
<p>評価</p>	<p>1については、H27年度から各ユニットで入居者一人ひとりの24時間シート作成を開始しH28年度で全ユニット揃ったが、適切な時期に更新できていない状況も見られていた。本年度は入居者のケアプランの更新時に24時間シートの更新を見直す事になっていたが、更新が遅れる事もあり、すべてのユニットでスムーズに更新が出来ているとは言えない状況だった。今後の課題と言える。また、そこからの情報を実際のケアに繋げ個別ケアの充実を来年度からも目指していきたい。</p> <p>2については内部研修・外部研修共に参加状況に大きな問題は無く概ね目標通りに参加してもらえたと思う。参加後に全職員へ研修内容を浸透させる方法についてパソコン上で全職員が閲覧できるようなシステム作りを計画していたが現場の状況を考慮し、現在はユニットにファイルを置いて全職員に目を通してもらい、読んだら押印し確認を取っている。来年度も継続して効果を見ていきたい。</p> <p>3は法人の基本方針と同じ内容であり概ね目標達成は出来たと思われる。来年度からは年度の基本目標には載せないが同様の活動は継続的に行っていききたいと思う。</p> <p>上記に追加して本年度は職員の接遇に関してクレームや問題があったことを見逃してはいけない。ここでもう一度接遇について考え同じような事を起こさないよう来年度からのひかわ全体の接遇に繋げていきたい。</p>
<p>医務室 基本目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別ケアの充実             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 状態把握と変化の見極めに努める</li> <li>② 個人の尊厳、尊重を重視したケアに努める</li> </ol> </li> <li>2. 申し送りの徹底 通常の申し送り以外でも情報の共有に努める</li> <li>3. 職員の健康管理・相談につとめる 介護職の精神面のサポートの充実を図る</li> </ol>
<p>評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ①常時個々の状態は把握出来、変化時にも協力しながら行えることが出来たと思われる。 ②個々に対して尊重した関わりは概ね出来ているが、今後も継続していく必要があると思われる。</li> <li>2. 特に問題なく日々の業務内で達成出来たと思われる。</li> <li>3. 特に問題なく日々の業務内で達成出来たと思われる。</li> </ol>

<p>厨房 基本目標</p>	<p>(食事サービス部門)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユニット毎での出張料理を行い、入居者の食への関心を高める。また、入居者の目の前で調理を行い、出来立てを食べて頂くことにより、家庭の雰囲気味わって戴けるよう努力する。</li> <li>2. 食材の調理法を工夫し、キザミ食の入居者でも、可能であれば形のまま提供できるよう努力する。</li> <li>3. 食中毒防止の為、厨房内の清掃の徹底と、職員の衛生教育及び健康管理に勤める。</li> <li>4. 入居者の嗜好を把握し、定期的な献立の見直しや新メニューを取り入れることにより、喫食量の向上と、献立のマナー化防止を目指す。</li> <li>5. 四季に応じて旬の食材を献立にとり入れる。</li> <li>6. 適時適温を心掛け、調理開始時間・盛り付け時間の見直しを行う。</li> </ol> <p>(栄養管理部門)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者、個々人の栄養状態及び嗜好の把握をする事により、喫食量の向上と健康面の安定を図る。又、好物の把握を終末栄養に活用していく。</li> <li>2. ユニットの特性を生かし、ユニット単位の料理・菓子作りの企画と協力。カンファレンス等により、他職種との連携を図り、栄養業務に生かしていく。又入居者個人の食の意向をつかんでいくことにより、食事量減退時や看取開始時に生かしていく。</li> </ol>
<p>評価</p>	<p>(食事サービス部門)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1→ユニット出張料理の度に、入居者皆様に喜んでいただけた。来年度もメニューのバリエーションを増やし実施する。</li> <li>2→刻み食の入居者に柔らかく煮えた食材をそのまま提供できる時もあったが、調理方法を工夫する事で、形のまま提供できる料理を増やせることが出来ると思う。来年度も引き続き目標としたい。</li> <li>3→厨房の扉の閉め忘れを指摘されることが多かったので、従業員全員に指導し、実施していく。</li> <li>4→残菜等により嗜好を把握し、不評メニューの中止を行った。</li> <li>5→イベント料理などにより旬の食材の使用を実施した。</li> <li>6→配膳時に合わせた盛り付け時間の変更を行った。</li> </ol> <p>(栄養管理部門)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1→入居者個々人との触れ合いや、介護者への聞き込みによりおおよその施行は把握できた。</li> <li>2→ユニット単位やフロア単位で入居者の笑顔や喜びの音が聞こえる食作りが出来た。また、ユニットからの企画も多く上がってくるようになった。</li> <li>3→カンファレンス等で入居者個々人の食の意向が少しずつ掴めてきた。今後食欲がないときや看取り開始の時などに生かしていきたい。</li> </ol>
<p>A-1 ユニット 基本目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の変化に気付き、サポートが必要なことを見極め、事故なく生活を楽しめるよう介護する。</li> <li>・職員間での情報共有と、各個人でのスキルアップを図る。</li> </ul>



評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る入居者に偏りがあった。</li> <li>・事故は少なくならなかったが、楽しんで生活できていたと思う。</li> <li>・情報共有できていなかった。</li> </ul>
A-2 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再度、職員間での情報交換を密にし、お互いが指摘し合い、意思伝達が通しやすいユニット作りを目指す。</li> <li>・積極的に入居者と関わりをもち、楽しい時間を提供できるよう努力する。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務中にその場で指摘し合うという点では、わりとできていた。</li> <li>・ユニット会議を通して等、職員間での情報交換はよくできていた。</li> <li>・短い時間でも体操やレクリエーションを実施できた。</li> <li>・各職員が、積極的に入居者にかかわりをもっていた。</li> </ul>
A-3 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の声をかたちにしていく。</li> <li>・職員それぞれが自由に意見を出し合い、皆で新しいユニットを作っていく。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者との会話のなかから声をひろい、レクリエーションというかたちで希望を実現していくことができた。</li> <li>・常勤2名欠員という厳しい状況の中で立ち上がったユニットだが、自由に意見を交換しながら新しいユニットをつくることができた。</li> </ul>
A-4 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりを良く観察し、気持ちや希望を汲み取りながら、笑顔を引き出せるようなユニット作りを行っていく。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり外出の希望等、叶えてあげられず申し訳なく感じたが、出前等で工夫し、少しは入居者の希望を叶えることはできた。</li> <li>・日々の生活の中で、笑顔が多くみられることも多かったように感じる。</li> <li>・自身に余裕がなく、入居者の気持ちを汲み取り接することができなかった。</li> <li>・観察は多少なりできたものの、それを生活の場に組み込むことができず、気持ちの汲みとりまでたどり着けなかったと思う。</li> </ul>
B-1 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりに目を向け、希望に沿ったケアを実践する。</li> <li>・ADL の低下を防ぐと共に、各入居者に合った個別ケアを実践していく。</li> <li>・定期的にユニット会議を行い、情報共有し、また職員間のモチベーション向上を図る。</li> <li>・ショートステイの利用者にも目を向けたケアを実践する。(申し送り・居室環境・日常生活・洗濯物等)</li> </ul>
評価	<p>入居者のADLの低下が進んでおり、食事形態の変更、立位不安定、居室に籠りがちといった状況が目立つようになった。また、ショートステイ利用者も同様で、全体的に介護レベルが上がっている。その為、外出、外食等の積極的なユニット行事が行えなかった。ユニットの雰囲気も介護拒否やフロア内の徘徊、帰宅願望が増え、見守りや対応に追われてしまった。それと同時に、ショートステイ利用者の、ご家族からの要望が以前よりも増え、職員間の申し送りを行うが、申し送り漏れも発生している。介護拒否、介護量の増加によって、現場職員の精神的、身体的(腰や上腕等)負担が増えており、新年度の一番の課題と思われる。</p>



B-2 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々にあったレクリエーションの提供をする。</li> <li>・清潔な生活環境を作り、入居者が穏やかに過ごせるよう支援する。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会は各居室担当者の趣向に合わせて行っていた。</li> <li>・レクリエーションは行っていた方だが、散歩や、体操、塗り絵などが特定の方へのアプローチに偏ってしまった。</li> <li>・清掃は行っていたと思う。また、気付いたことや、清掃方法などは、申送りなどを行い、掃除の幅を広げていけていたと思う。</li> </ul>
B-3 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで以上に職員間でコミュニケーションを図り、入居者の情報を共有し、統一したケアを実施していく。</li> <li>・音楽やレクリエーションを提供し、一人ひとりが満足のできる活気ある生活空間作りを目指す。</li> <li>・清潔感のある快適な環境作りの継続をする。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間のコミュニケーションは良く取れ、情報共有は出来ていたが、職員間で口論となってしまう事があった。ケアに関してはもっと技術を上げていきたい。</li> <li>・日常的に CD(音楽)や DVD(映像)を流し、全員ではないが個々にあった満足のできる生活空間の提供は出来ていた。レクリエーションは毎月の分担以外にももう少し工夫をしていきたい。</li> <li>・整理整頓の得意な非常勤さんのおかげで、清潔感のある環境に気が向くようになった。少しでも時間があれば、床を掃く等していたが、テーブル下の食べカスや、細かいゴミがまだまだ目立つ事もあり、今後も継続していく必要がある。</li> </ul>
B-4 ユニット 基本目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 当たり前の生活・暮らしの継続ができるように個別支援に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・余暇活動(集団及び個別)への取り組み</li> </ul> </li> <li>② ゆとりある生活への取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の標準化</li> <li>・環境整備の見直し</li> </ul> </li> <li>③ 年間の行事計画を作成し、月 1 回以上の行事計画を実施し、入居者の満足度を上げてく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事計画の作成</li> </ul> </li> <li>④ ユニット会議の開催を年 4 回以上実施する(常勤、非常勤の参加の促し) <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期、下半期にて会議の開催、評価をする</li> </ul> </li> </ol>
評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 入居者との関わりの中で、声掛けや傾聴を意識して介護支援を行なった。日々の体操等は継続できたが、直接的な介護支援が中心となり、新しい取り組みまではできなかった。また入居者の状況、状態変化に気づき、他職種への報告、相談を通して、ユニットにおいて早い対応への個別支援につなげる事ができた。</li> <li>② ゆとりある生活がもてるよう、介護、間接業務の見直し、分担を行なった。生活の中で、一人ひとりの介護支援(食事・排泄)に時間が多くかかり、ゆとりの時間については、十分な結果にならなかった。その為、介助における優先順位やその時の状況判断、どの場面でも職員が同じサービス提供ができるよう取り組み、個々に関わる事を大切に生活支援ができた。次年度は入居者</li> </ol>

	<p>の気持ちや声掛けの仕方として、選択できるコミュニケーション技術を目標に取り組む。</p> <p>③ 上半期は概ね行事の実施ができた。上半期は直接的な介護支援が中心になった事や、職員のゆとりが持てず、実施できない月も見られた。年間を通して外出時に買い物をした。日々の生活の中で、購入品(食品)を提供する事ができ、入居者の満足度に近づけたと思う。</p> <p>④ 年 4 回実施した。第 1、4 回目には非常勤職員も参加できた。会議内において、違う視点で入居者や環境整備の気づきの発言が聞かれた。ユニット計画の説明を通して、上半期、下半期として年間業務の進行をした。日々の入居者の介護状況の変化が多くみられたが、会議を通し情報共有から個別介護の統一に繋がったと思う。評価に関しては、介護の見直し、ユニット計画の進捗状況の確認、修整をする事ができ有意義な会議となった。</p>
C-1 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感を盛り込んだ行事を充実させる。</li> <li>・リハビリを兼ねて、入居者が参加できる作業を提供していく。</li> <li>・入居者とコミュニケーションをとりながら、日々の生活要望や意見等を汲み取る。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度のレクで季節を取り入れることができたと思う。</li> <li>・日々の生活の中で業務を優先してしまいリハビリがほとんどできなかった。</li> <li>・もっと他の入居者の要望や意見を汲み取る必要があった。</li> </ul>
C-2 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各入居者に対して、必ず1日1回以上はお互い笑顔で接する時間を作る。</li> <li>・毎朝、各入居者に適した時間に起床して頂く事を念頭におきモーニングケアを行う。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識して取り組むことができた。</li> <li>・目標設定時期に比べると、入居者への身体介護量が増え、一人一人と接する事が難しくなってきた現状がある。</li> <li>・業務に追われ、笑顔で接することができたか分からない。</li> <li>・会話がしやすい入居者への接する時間が多くなり、接し方に偏りがあった。</li> <li>・夜間帯では 20 名の方のケアを行う為、協力ユニットとの兼ね合いもあるが できる範囲で入居者の意向に合わせて起床介助をできたと思う。</li> <li>・朝、突然電気を点けて起床介助を行うのではなく、6 時過ぎくらいからカーテンを開けることや居室内の電気を点けること、居室内のテレビや CD を鑑賞して頂く等の対応を行い、徐々に目覚め易い環境を整えるケアが意識してできたと思う。</li> <li>・7 時以降に起床しないと朝食時に眠気が強くなる入居者が多く、早番者への負担が多くなってしまっている現状がある。</li> <li>・眠気の強い方は延食をする等、臨機応変に対応できたと思う。</li> </ul>
C-3 ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の個々の対応を理解し、忙しい際も言葉遣いに気を付け業務を行う。</li> <li>・決まった入居者ばかりが外出するのではなく、全体の入居者が楽しめる行事計画を立てる。</li> </ul>

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忙しい際、言葉遣いが乱れてしまうことがあった。</li> <li>・完璧ではないが、入居者の個別の対応を意識しながら仕事をするように心掛けた。</li> <li>・全体の入居者が参加できる行事を行うことができたと思う。</li> </ul>
C-4ユニット 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりの当たり前の生活のために、生活情報をユニットケアの実践に役立てる。</li> <li>・レクや行事レク等、気分転換や笑顔につながる活動を定期的実施する。</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活情報を活用する機会や時間を十分にもてなかつた。</li> <li>・業務等に時間を取られ、レク等にあまり時間をかけることができなかった。</li> <li>・途中でリーダーの変更があり、うまくユニット内をまとめることが出来ず、レク等の計画や対応ができなかつた。</li> <li>・ユニットケアを実践するに当たり、もう少し入居者にメリハリのある生活を送って頂けるように支援ができれば良いと思う。</li> <li>・24H シートを定期的確認し、変更があった場合は変更を行い、生活情報として役立てたと思う。</li> </ul>

## 通所介護事業報告書

### 1. 事業概要

特養併設型通所介護事業所として、要介護・要支援者を対象に通常型のデイサービスで日帰り介護をし、在宅での生活が維持できるよう支援しています。また、総合事業「交流型」通所サービス「運動型」通所サービスを行い介護予防事業の一端を行っています。

### 2. 月間利用者数

28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	554	602	614	566	546	537	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	518	501	522	449	492	531	6,432
29年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	473	529	553	562	586	541	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	584	634	601	532	557	603	6,755

### 3. 介護度別利用者数

(3月末日現在)

要介護度	事業対象	要支援	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
28年度		12	22	11	13	4	1
29年度	14	12	17	13	16	4	2

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 利用者のお誕生日に、お花・写真のプレゼント。
- 新年会、節分、ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマス会などの季節行事。
- 敬老の日前後に、「感謝祭」を開催。他部署の職員にも加わってもらう。
- さつま芋・野菜・花等の園芸活動や、桜・バラ・コスモス観賞のドライブ。
- 各種舞踊やマジック、朗読会などのボランティアをお招き。

## 5. 職員の状況

(3月末現在)

職名	人数		兼務の 状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
相談員 (管理者)	1		○	男	介護支援専門員、社会福祉士
相談員	1			男	介護支援専門員、介護福祉士
介護職	3	2		女	介護福祉士
介護職		1		女	ヘルパー2級
介護職		1		女	
看護師	1			女	正看護師
看護師		1		女	准看護師
運転手		3		男	普通自
合計	6	8			

## 6. 目標に対する自己評価

基本目標 1	<p>(予防)体操・レクリエーション等で活動量・笑顔を増やし、在宅での生活がより充実して送れるよう支援します。</p> <p>(介護)人との交流を充実させ生きる喜び・笑顔を増やします。</p> <p>利用しやすい環境を整備し、家族の介護負担軽減し在宅での生活が出来るだけ継続できるよう支援します。</p>
重点課題	<p>新しく始まる総合事業「交流型」「運動型」通所介護の安定した運営に努めます。</p> <p>新しい体操・プログラムを取り入れ介護予防に努めます。</p> <p>接遇向上に取り組みます。</p> <p>「遊びリテーション」「選択レクリエーション」を充実します。</p> <p>利用時間・送迎時間など柔軟に対応できるよう努めます。</p> <p>「季節行事」「園芸活動」を通して生活意欲を高める。</p>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合事業「運動型」では百歳体操を中心とした筋カトレニングを「交流型」では遊びリテーションを中心とした活動を安定して提供することが出来た。</li> <li>・午前中の体操にストレッチ・下肢筋力筋トレを追加した。</li> <li>・朝の申し送り時に唱和することで意識向上を図った。</li> <li>・園芸活動では毎年恒例のさつま芋掘りに、指扇保育園の園児達も参加。今回は苗植えから園児達にも参加してもらい自分達で植えたさつま芋を収穫することが出来喜んで頂けた。</li> <li>・短時間利用にも可能な限り対応。より柔軟に対応できるよう環境を整備していく。</li> </ul>
基本目標	<p>広報活動に努めます。</p>
重点課題	<p>毎月「ほほえみだより」を作成する。</p> <p>法人のホームページを活用する。</p>

	居宅介護支援事業所へ広報する。
評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ほほえみだより」を滞りなく毎月作成することが出来た。</li><li>・法人のホームページのブログの更新が滞っており、うまく活用していきたいと思う。</li><li>・「ほほえみだより」とあわせて「空き状況・次月予定表」も居宅介護支援事業所に毎月郵送。</li></ul>

# 在宅介護支援センター事業報告

## 1. 事業概要

在宅で生活しているお年寄りが、日常生活を営むために必要な保健医療サービス又は福祉サービスの適切な利用をすることが出来るよう計画を作成すると共に、市からの事業受託にて独居高齢者等の実態把握や介護サービス啓発のための事業などを行っています。

## 2. 月間利用者延数

28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	182	182	187	184	183	183	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	183	189	187	183	180	184	2,207
29年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	186	182	176	174	167	165	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	166	169	174	174	174	174	2,081

## 3. 介護度別利用者数

(3月末現在)

要介護度	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
28年度	16	10	67	57	38	15	7	210
29年度	14	16	63	47	37	15	12	204

## 4. 事業所で特別に行ったこと

- 介護者サロン(「脱水予防」・「肺炎予防」) 2回
- 県立大学IP演習参画(10月)
- ケアマネジャー合格者実務研修実習生受け入れ 2名
- 出張無料相談会(公民館、西楽園、湯けむり横丁)8回
- 高齢者サロンへの参加、自治会勉強会でのお手伝い
- 指扇地区民生委員(生活援護部会)主催勉強会へ講師出向
- 指扇地区社協地域福祉推進委員会(地域福祉行動計画作成)出席
- 指扇地区社協理事会出席
- 一人暮らし高齢者世帯見守り訪問(随時)
- 民協への広報活動 2回
- ふれあい会食で相談窓口の設置(指扇及び内野地区社協) 20回
- 西区区民まつりへの出展(11月)
- 西区「健幸フェスティバル」参画(10, 11月)
- 認知症サポーター養成講座「劇団にしく」、西区認知症キャラバンメイト連絡会への参加

## 5. 職員の状況

(3月末現在)

職名	人数		兼務 の 状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
センター長 (管理者)	1		○	男	主任介護支援専門員
ケアマネ	1 2 1	1		女 女 男 女	主任介護支援専門員 社会福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士
合計	5	1			

## 6. 目標に対する自己評価

基本目標	<p>① 制度の変化に対応し、利用者の自立支援(生活的価値の実現)がマネジメントできる。</p> <p>② 福祉機関として地域に貢献し、事業所の存在を地域に定着させる。</p>
重点課題	<p>① サービスを調整するだけでなく、利用者個々の役割や自尊心が保てる支援ができるよう、ケアマネジメント術を皆で研鑽しあう。</p> <p>② 社会福祉法人及び地域包括支援センターのランチとして、自治会や民生委員活動及び認知症啓発活動に積極的に参加する。</p>
評価	<p>① 毎週の定例会でケアマネ個々が行き詰っている事例を共有し、自分のケアマネジメント術にも生かしました。サービス調整しても利用者や家族の生活が安定しないケースでは、その方の生活・生育歴やおかれている環境などを皆で再検証し、支援方法のアイデアを出し合ったり妥協点を見出したりしています。地域の病院の相談室から「入院患者が退院にあたり某ケアマネが関わっているが不親切で心配、」と相談され、ケアマネ交代を調整したことがありました。医療機関からの評価の表れと思います。</p> <p>② 毎月2か所の地区社協の会食、高齢者サロン(一部)への参加を継続しています。また、指扇地区社協の地域福祉活動計画作成の委員として参画し、理事会へも出席しています。在宅介護支援センター(地域包括支援センターのランチ)業務以外の地域貢献を今後も継続したいと思います。</p>



## 地域包括支援センター事業報告

### 1. 事業概要(実績)

	地域活動	認知症サポーター養成講座	ネットワーク構築	その他
H29 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマイルクラブ(赤羽根)</li> <li>・イキイキうんどう塾</li> <li>・サロンひかわ</li> <li>・さわやかサロン(内野公民館)</li> <li>・指扇地区社協会食会</li> <li>・下宝来自治会館</li> <li>・すこやか運動教室</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会</li> <li>・GH みんなの家高木運営推進会議</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマイルクラブ(赤羽根)</li> <li>・森と風のサロン(内野本郷)</li> <li>・西区民生委員生活援護部会</li> <li>・指扇地区社協会食会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> <li>・指扇地区社協総会</li> <li>・指扇地区民協</li> <li>・内野地区民協</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会(指扇病院)</li> <li>・GH ふるさとの家運営推進会議</li> <li>・サロンの講師紹介します</li> <li>・扇の森 WEST 運営推進会議</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さしおぎ団地自治会</li> <li>・スマイルクラブ(赤羽根)</li> <li>・さわやかサロン(内野公民館)</li> <li>・オーベル</li> <li>・中釘やよい会</li> <li>・高木団地自治会館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮地区郵便局</li> <li>・佐知川下自治会(劇団)</li> <li>・指扇地区社協</li> <li>・けやき台</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区地域包括連絡会</li> <li>・指扇地区地域福祉推進委員会</li> <li>・指扇地区老人クラブ総会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH みんなの家高木運営推進会議</li> </ul>
7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアローソン</li> <li>・宮前中学校(劇団)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> <li>・指扇地区地域福祉推進委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会(指扇病院)</li> <li>・GH ふるさとの家運営推進会議</li> <li>・GH 愛の家運営推進会議</li> </ul>
8月				
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区社協会食会</li> <li>・森と風のサロン(内野本郷)</li> <li>・スマイルクラブ</li> <li>・四地区合同敬老会</li> <li>・指扇東部ブロック敬老会</li> <li>・指扇北部ブロック敬老会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮西部地区郵便局 1日目</li> <li>・大宮西部地区郵便局 2日目</li> <li>・大宮西中学校(劇団)</li> <li>・西区役所</li> <li>・土屋中学校(劇団)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議</li> <li>・指扇地区地域福祉関係機関連絡会</li> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会(指扇病院)</li> <li>・ロコモデイサービス運営推進会議</li> <li>・光和堂デイサービス運営推進会議</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーベル</li> <li>・寿会(秋葉神社集会所)</li> <li>・三橋6丁目老人会</li> <li>・高砂会(木ノ下自治会館)</li> <li>・大宮指扇県営団地</li> <li>・健幸フェスタ(指扇公民館)</li> <li>・スマイルクラブ</li> <li>・森と風のサロン</li> <li>・健幸フェスタ(内野公民館)</li> <li>・指扇地区社協学習会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン連絡会</li> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会(西楽園)</li> <li>・GH みんなの家高木運営推進会議</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者サロン笑扇会</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会(指扇病院)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区ふれあいフェア</li> <li>・にこにこサロン</li> <li>・スマイルクラブ</li> <li>・森と風のサロン</li> <li>・西区健幸フェスタ</li> <li>・のびのびサロン</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・GH 愛の家運営推進会議</li> <li>・扇の森WEST 運営推進会議</li> <li>・GH ふるさとの家運営推進会議</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SONPO ケアラヴィーレ 西大宮×2</li> <li>・西区老人会婦人部</li> <li>・コーヒーサロン</li> <li>・森と風のサロン</li> <li>・ケアローソン</li> </ul>	・西区区民向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区地域包括連絡会</li> <li>・いきいきサポーター交流会</li> </ul>	・GH みんなの家高木運営推進会議
H30 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イキイキうんどう塾</li> <li>・下宝来いきいきサロン</li> <li>・森と風のサロン</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきサポーター養成講座フォローアップ研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会(指扇病院)</li> <li>・GH ふるさとの家運営推進会議</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーベル×2</li> <li>・峰岸団地</li> <li>・パンジーサロン×2</li> <li>・さいたま市大宮ワークプラザ</li> <li>・サロンおあしす(五味貝戸)</li> <li>・ライオンズ倶楽部</li> <li>・白寿会(西新井)</li> <li>・サロンひかわ×2</li> </ul>	・大宮西警察署	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内野地区社協地域福祉行動計画進行管理連絡会</li> </ul>	・GH みんなの家高木運営推進会議
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きらめき(ニチイケアセンター内野本郷)</li> <li>・いきいきサロン(高木団地自治会館)</li> <li>・出張いきいき百歳体操(下郷自治会館)</li> <li>・森と風のサロン</li> <li>・いきいき西大宮(SONPO ケアラヴィーレ 西大宮)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区キャラバンメイト連絡会</li> <li>・指扇地区社協企画委員会</li> <li>・地域支援会議</li> <li>・指扇公民館連絡会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料相談会(指扇病院)</li> <li>・だんらんの家運営推進会議</li> <li>・GH ふるさとの家運営推進会議</li> <li>・GH 愛の家運営推進会議</li> <li>・扇の森WEST 運営推進会議</li> </ul>

## 2. 月間利用者数

28年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	360	369	376	365	376	381	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	374	381	380	378	374	396	4510
29年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	387	391	407	427	439	438	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	445	433	449	440	430	437	5123

## 3. 職員の状況

職名	人数		兼務の状況	性別	資格
	常勤	非常勤			
管理者・社会福祉士	1		○	男	社会福祉士 介護支援専門員
社会福祉士	2			女、男	
主任介護支援専門員	3			女	介護支援専門員 介護福祉士
看護師	2			女	看護師 介護支援専門員
生活支援コーディネーター		1		男	
合計	8	1			

#### 4. 目標に対する自己評価

基本目標 1	認知症の人の社会参加、介護者の負担軽減、地域住民の認知症理解促進のため、認知症カフェを開催します。
重点課題	認知症カフェを年4回開催します。
評価	当初、ラヴィーレにて認知症カフェを4回企画しましたが、ケアローソンと指扇東部ブロックから開催の協力依頼があり計13回開催することができました。引き続き、様々な場所で開催できるようアプローチを続けていきます。
基本目標	地域で活動したい人、活動している人を支援します。
重点課題	まちづくりフォーラムに参加された方を中心に声をかけ、サロンを立ち上げたい人、協力したい人、すでに活動している人の交流会を年2回開催します。
評価	交流会を2回開催しサロンを立ち上げたい人と講師としてサロンに協力している人の交流を支援しました。各サロンの連携が強化され情報のやり取りが生まれました。また各サロンが直接、講師に依頼しサロンを開催するところが増えています。参加者からの声も好評であり、引き続き開催していきます。

## 訪問介護事業報告書

平成 29 年 7 月 31 日をもって休止とし、平成 30 年 1 月 31 日をもって廃止いたしました

### 1. 事業概要

在宅で生活している要介護・要支援者に、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の支援を行っています。また、要介護認定非該当でも市が必要と認める方への家事の援助(生活援助員の派遣事業)も行いました。

### 2. 月間派遣延時間

28 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	259.5	248.3	305.4	305.4	273.5	250.5	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
	250.6	244.2	208.8	210.8	187.8	257.5	3,002.3
29 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
	208.5	172.5	167.5	-	-	-	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
	-	-	-	-	-	-	

### 3. 介護度別利用者数

(3 月末日現在)

要介護度	要支援	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5
28 年度	20	17	5	4	2	2
29 年度	-	-	-	-	-	-

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 利用者のお誕生日にお花のプレゼントを行っています。
- さいたま市からの委託事業で、介護保険要介護認定自立のお年寄りにサービスの提供をしています。